

2026年4月19日 復活節第三主日礼拝説教
「心の眼が開く時」(ルカ24章13～35節)

○ルカ24章16節のみことば

「二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。」

*復活の主イエスが、近づいて来られたのに…

☞二人にとって、イエスは、もう死んでしまった人

問：わたしたちの心に映し出されるキリストは？

*死んだままなのか、それとも、生き返られたのか。

☆あなたに、生きているイエスが見えるのなら、なぜ…

○ルカ24章27節のみことば

「聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。」

*聖書が伝えるのは、すべて神の子イエスを指し示す言葉

⇒説き明しをとおして、キリストの御姿が現われる。

※みことばのうちに生きるイエスとの出会いを求めよ。

今日のみことば：ルカ24章31節

「二人の目が^{ふたり}開け、イエスだと^め分^{ひら}かったが、その^わ姿は^{すがた}見え^みなくなった。」

問：どうして、キリストの御姿が消えてしまったのか？

*二人が、よみがえりを〈見ずに信じる者〉となったから。

「(イエスが)道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか。」(32節)

*燃える：神の聖さに触れる中で、天からの喜びを受ける。

※あなたの心にも、望みをもって生きる力が与えられる。